

再評価調査書

事業名	一級河川箕面鍋田川総合治水対策特定河川事業	事業主体	大阪府
所在地	箕面市 意谷地先～千里川合流点		
再評価理由	事業採択後10年を経過した時点で継続中		
事業の概要	目的	箕面鍋田川は、沿川に人家が連担しており、かつ、時間雨量50ミリ非対応であることから、洪水による被害を防止し、安全で豊かな生活環境を築くため河川改修を進める。	
	内容	改修延長 1,260m 護岸工 1,260 m 道路橋 5 橋 用地取得 約 12,500 m ²	
		目的流量：2.3 m ³ /s（時間雨量50ミリ）：4.4 m ³ /s（100年確率）	
		治水安全度（着手前）：約1.5 m ³ /s 鍋田橋	
	上位計画	淀川水系工事実施基本計画	
関連事業	下水道事業		
事業の進捗状況	経過	事業採択年度：S54	工事着手年度：S54 完成予定年度：21世紀初頭
	進捗状況	全体事業費：約23億円 （内、用地費 約10億円） 整備延長 1,260 m	投資事業費：約21億円 （内、用地費 約9億円） 整備済延長 約1,220 m（97%）
	一連の整備効果発現	改修済箇所から氾濫防止が図れる。H15年度末を目標に、千里川合流点から府道池田箕面線までの人家連担区間の時間雨量50ミリ対応を概成させる。	
	課題	特になし	

事業の社会的変遷等	災害発生時の影響（想定氾濫区域内）	① 浸水戸数：約470戸 ② 農地浸水面積：約20ha
	③ 重要な公共施設	学校、保育所、国道171号
	④ 災害弱者関連施設	
	⑤ その他	
	過去の災害実績	① 被害頻度：1回（S42） ② 最大浸水戸数：約770戸 箕面市全域（最大S42.7）
	③ 最大農地浸水面積	285ha 箕面市全域（最大S42.7）
	④ 重要な公共施設等	学校、保育所、国道171号
	⑤ 災害弱者関連施設	
	⑥ その他	
	災害発生の危険度	① 改修目標流量に対する現況流下能力の割合：約34% ② 着手前の治水安全度：約1.5 m ³ /s
地域の状況	① 地域開発の状況	特になし
	② 地域の協力体制	地元から改修要望がある。
	③ 地域の事業と整合性の変化	特になし
	④ その他	改修によって浸水被害が軽減してきており、改修区間での改修による評価は高い。

費用 便 益 分 析	具体的な便益内容			受 益 者	費用便益比	備 考	
	・費用便益分析	総便益 約 2,645億円 (内訳) 浸水被害の軽減 (受益地において、水害によって社会経済活動が受ける被害が、河川事業によって減少する便益) 総費用 約 26億円 (内訳) 建設費 (治水事業を実施するために要する費用) 維持管理費 (施設の維持管理に要する費用)			想定氾濫区域内住民	・ B/C = 100 (想定被害額は、治水経済調査要綱に基づき、一般資産、農産物、営業停止損失、公共土木施設等について算定)	治水経済マニュアル
事業 効果 の 定 性 的 評 価 等	大 項 目	小 項 目	効果の指標等	具体的な効果等		受 益 者	備 考
	安全・安心	浸水被害の軽減 ・生命、財産、都市機能	・想定氾濫区域面積	・約 25 ha ・約 1,300 人	想定氾濫区域内住民		
			・想定氾濫区域内人口				
		・想定氾濫区域内の重要な施設数 (交通網、ライフライン等)	・主要施設： 学校 ・災害弱者施設： 保育所 ・交通網、ライフライン等： 国道171号	施設利用者			
		防災機能(地震・火災時等) ・緊急避難路、物資輸送路、 延焼防止帯等		人家が連担する河川の両岸堤防が道路として守られることから、生活道路及び、緊急時の避難路、物資輸送路が確保される。	周辺住民		
	活力	特になし					
快適性 (生活環境)	親水空間の確保 (スポーツ・レクリエーション利用)		河川改修によって、河川両岸に散歩ができる通路が設置され、河川に対する親しみが增大することが期待できる。	周辺住民			
その他	特になし						
自然環境等への 影響と対策	河床は土等であることから、時間が経てば、自然とみお筋が形成されることが期待される。						
その他 特記すべき 事項							